

○【中瀬パークトーク2026】第2回市民ワークショップ 実施報告

1 日時・場所

令和8年6月27日（日）午前10時から正午まで
旧観慶丸商店 文化交流スペース

2 目的

中瀬公園の将来の利活用や管理運営のあり方を検討するため、市民の皆さんから幅広く意見を伺うことを目的に開催しました。

3 内容

- (1) 1回目ワークショップの振り返り
- (2) みんなでつくる中瀬公園や拠点づくりの考え方についてせつめい
- (3) ギャラリーセッション
各テーマ別ブースで自由に回遊しながら、対話をしました。
- (4) 全体セッション
各ブースでのセッション結果を共有しました。

4 参加者

26名

5 状況写真



6 ワークショップ結果概要

7つの専門ブース（ギャラリー）に分かれ、具体的な利活用案が議論されました。

中瀬園藝部（ガーデン）

ハーブ栽培やコンポストによる循環型の土づくり、野草利用や自然素材を活用した体験活動に加え、香りや加工品を活用した小規模ビジネス化の可能性が提案された。

なかぜハニー

蜂蜜や蜜蝋の活用、教育プログラム、街中の緑化と連携した都市養蜂などを通じ、公園とまちをつなぐ仕組みづくりの可能性が提案された。

水辺のデイキャンプ

バーベキューや防災キャンプ、川を活用した体験活動など、安全性や管理に配慮しつつ自由度の高い公園利用の可能性が提案された。

中瀬の歴史

中瀬の歴史や文化を伝える情報発信や遺構の保存・活用に加え、昔遊びや芝居・映画などの文化活動の再現を通じて、公園を歴史継承の場とする取り組みが提案された。

中瀬の空間と環境

公園の基本的なあり方として、木陰や芝生、水辺など誰もがゆったり過ごせる空間の確保に加え、多目的な利用への対応や中心市街地と連携した公園づくりが提案された。

地域連携・新しいチャレンジ

屋台村やマルシェ、フェス、虫取り大会や落とし穴イベントなどユニークな体験型イベントの開催、若者が気軽に挑戦・出店・活動できる場やスケートボード場など自由に遊べる空間の整備によるにぎわい創出が提案された。

また、北上川に面した立地を活かし、カヌーや船など水辺空間との連携を強化するとともに、「楽しさ」を軸とした魅力ある公園づくりの重要性が示された。

7 ワークショップにおける意見や感想

（1）ワークショップについて

- ・各自足を運んで興味のあるブースを見に行くスタイルというのは面白い。
- ・全体の概要が掴めて良かったです。
- ・公園の在り方からこれからのことを考えるきっかけとなった。

（2）ギャラリーセッション

- ・セッションごとに、実行者と話ができることで、アイデアが活発になった。
- ・それぞれの「やってみたい」が形になっていて、とても興味深い内容だった。
- ・色々な人がチャレンジしていて面白かった。くだらないアイデアおもしろい。
- ・昭和初期の興味深い16mmフィルムを見せていただき、100年の時の流れの早さを感じました。

（3）全体セッション

- ・面白い人たちの面白いアイデアで心が満たされた。
- ・担当者だけでなく、参加者の声も聞けて楽しかった。

8 今後

令和8年8月30日（日）に第3回ワークショップを実施予定